

【はじめに】

海浜病院は地域医療支援病院に指定されており、感染管理においても地域の医療機関との協力のもとに地域で必要とされる感染症の診療のみならずその予防についても医療を提供する責務があります。また院内の感染症管理、職員の教育など病院での感染症対策に関わる業務は年々増加しており、その重要性が認識されるようになりました。そのため 2018 年 4 月に感染対策部門を医療安全室から独立させ、新たに感染対策室を設置してから 5 年が経過しました。

2020 年初めから新型コロナウイルス感染が猛威をふるい、社会全体に大きな影響がありましたが、当室では 2021 年度から専従の感染管理認定看護師 2 名体制とし感染対策機能の強化を図りました。以後現在に至るまで各科医師、看護師、コメディカルなど各職種の職員全体の多大な努力、協力を得て多くの陽性患者を当院で診療し、夜間休日を含めて多数の入院患者を受け入れてきました。この間発熱外来の設置、夜間休日の入院患者うけいれ、かかりつけ患者および職員の予防接種など多岐にわたる業務を行ってきました。2022 年度には院内クラスターの発生もありましたが、幸い病院機能の大きな低下は回避できました。2023 年 5 月以降新型コロナは感染症 5 類対応に変わりましたが現在も陽性患者数は多くコロナ対応は継続しています。

感染症への対応の重要性はこれからも変わらないと思われ、感染対策室ではこれからも地域の医療機関、保健所や各職種の職員と協力して努力を続けたいと思います。

【部門目標・評価】

1 目 標

感染管理に関する院内全員の知識・意識の向上をめざし、受講率を 100%にする。

2 評 価

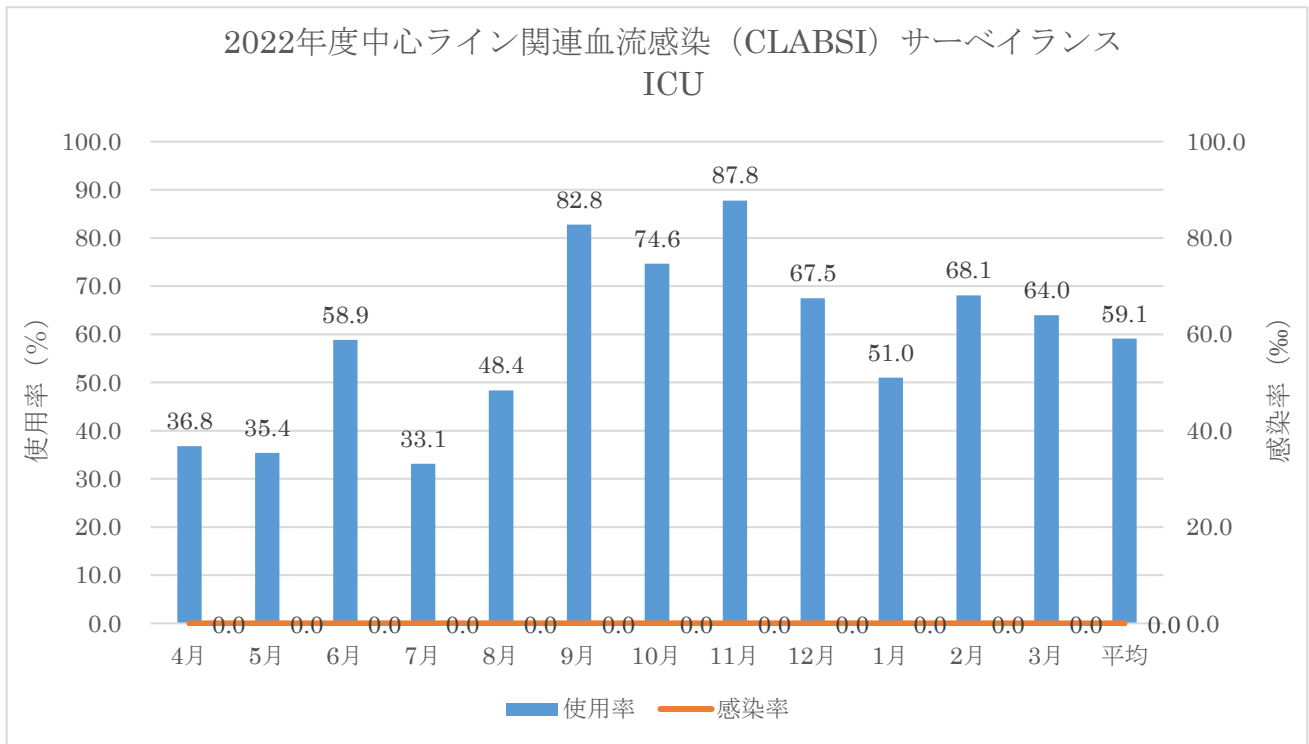
全体研修は e-ラーニングでの受講とした。未受講者に対して再三受講するよう促すも、最終的に受講率は第 1 回目、第 2 回目とも 100%を達成することはできなかった。実践に生かせる内容、興味をもてる内容でのテーマ設定を心がけているが、研修内容の理解度についての評価も含め、目標達成できるよう努力していく。

【業務体制・スタッフ】

役職名等	資格・業務など
感染対策室長	院内感染管理者 感染対策委員長（兼任）
副感染対策室長	感染管理認定看護師（専従）
感染管理主任看護師	感染管理認定看護師（専従）
薬剤部長	感染制御認定薬剤師（兼任）
臨床検査技師	感染制御認定臨床微生物検査技師（兼任）

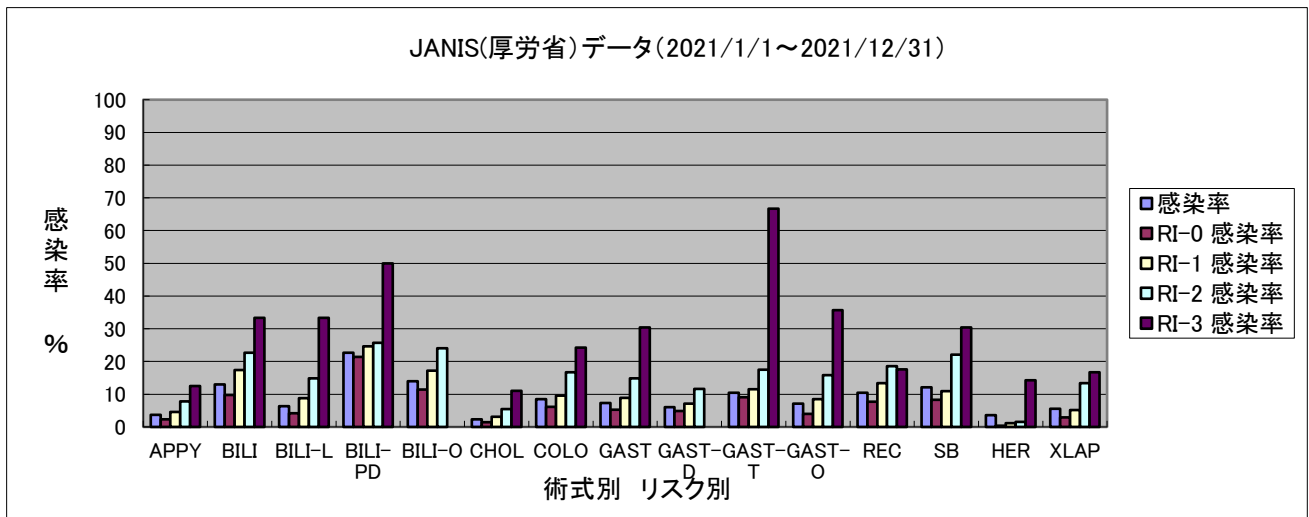
【サーベイランス】

1) 中心ライン関連血流感染サーベイランス (ICU)

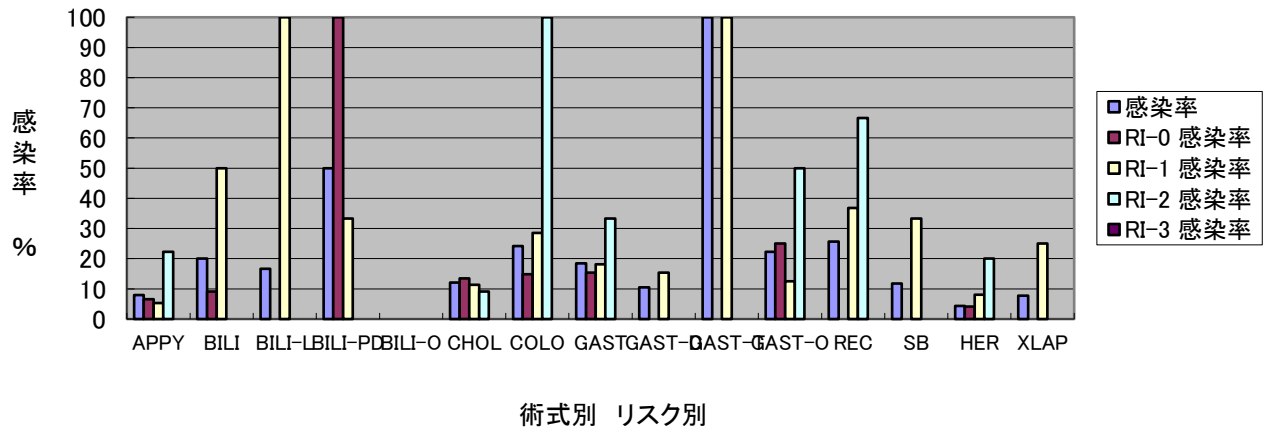


JHAIS 2022年7月～2022年12月データ 使用率：40.0% 感染率：1.5‰

2) 手術部位感染サーベイランス



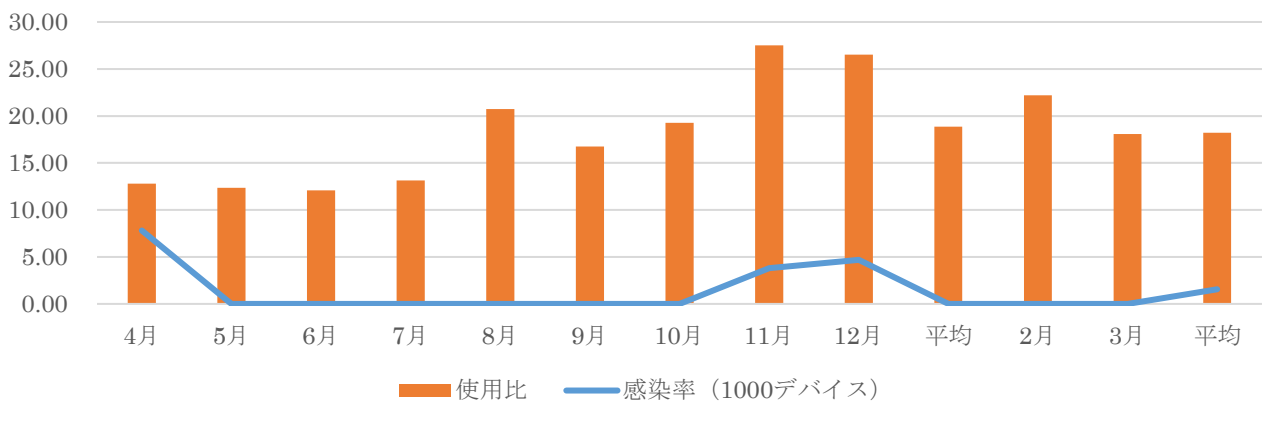
海浜病院データ (2022/1/1~2022/12/31)



APPY	虫垂の手術
CHOL	胆嚢摘出・胆嚢切開
COLO	大腸の切開・切除または吻合
GAST(合計)	
GAST-D	幽門側胃切除、B I・B II 再建
GAST-T	胃全摘
GAST-O	胃手術(胃の切開・切除)
REC	直腸の手術
SB	小腸の切開あるいは切除
HER	鼠径部・大腿部・臍または前腹壁のヘルニアの修復

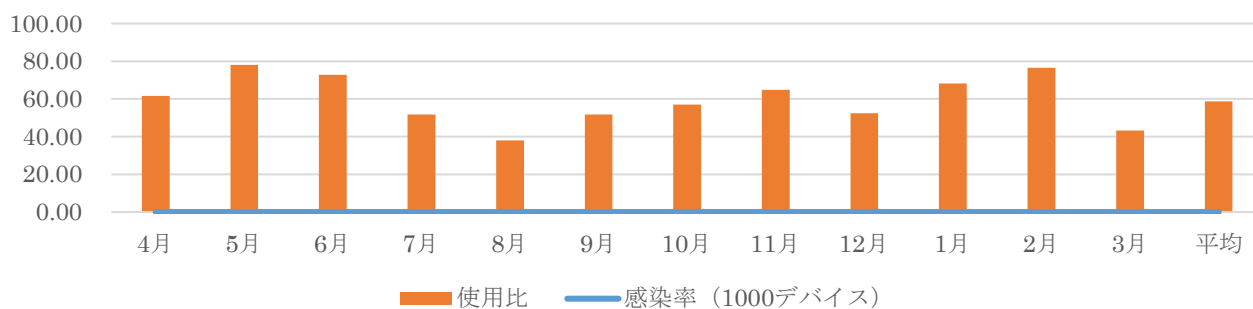
3) 尿道留置カテーテル関連尿路感染サーベイランス

2022年度尿道留置カテーテル関連尿路感染 (内科)



JHAIS 2022年7月~2022年12月データ 使用率: 15% 感染率: 2.1‰

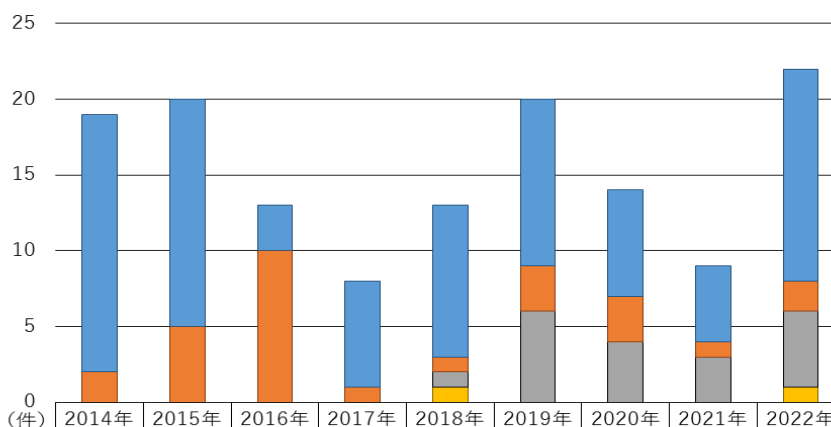
2022年度 尿道留置カテーテル関連尿路感染 (ICU)



JHAIS 2022年7月～2022年12月データ 使用率：67% 感染率：1.6‰

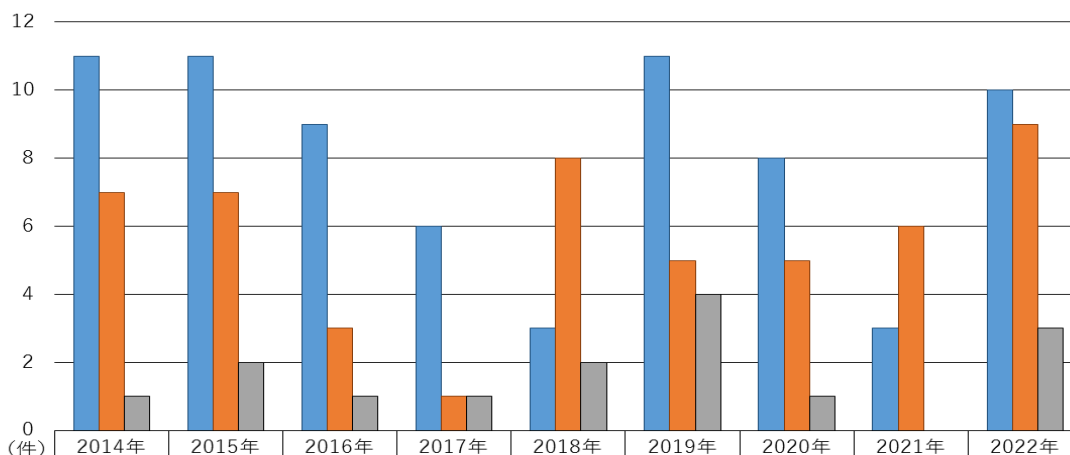
4) 針刺し切創、皮膚粘膜曝露報告

針刺し切創・皮膚粘膜曝露 件数の年次推移



(件)	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
■ A 針刺し切創	17	15	3	7	10	11	7	5	14
■ B 皮膚粘膜曝露	2	5	10	1	1	3	3	1	2
■ AO 針刺し切創 (手術部用)					1	6	4	3	5
■ BO 皮膚粘膜曝露 (手術部用)					1	0	0	0	1

針刺し切創・皮膚粘膜曝露 職種別の年次推移



(件)	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
■ 看護師	11	11	9	6	3	11	8	3	10
■ 医師	7	7	3	1	8	5	5	6	9
■ その他	1	2	1	1	2	4	1	0	3

【研修実績】

分類	テーマ	内容	開催月	対象者	受講人数
必須研修	第1回 感染対策研修	感染対策の基本③ 医療感染性廃棄物について	7月～8月	全職種	469名 (99%)
	第2回 感染対策研修	結核の感染対策	2月～3月		463名 (100%)
	第1回 抗菌薬研修	TDMガイドラインの変更点	7月～8月	医師 看護師 薬剤師	395名 (98%)
	第2回 抗菌薬研修	血液培養と抗菌薬適性使用について	2月～3月	検査技師	390名 (99%)
感染管理 教育	新採用者 オリエンテーション	医療関連感染防止における当 院の取り組み 手指衛生と個人防護具の着脱 について	4月	新採用者	59名
	中途採用者 オリエンテーション	当院の感染対策	6月 9月 11月 2月 3月	中途採用者	6名
	アシスタント会 研修	手指衛生と個人防護具の着脱 について	10月 11月	看護補助員	29名
	アシスタント会 研修	手指衛生と個人防護具の着脱 について	10月	看護クラーク	3名
	アシスタント会 研修	環境整備時の感染対策につい て	12月 1月	看護アシス タント 会簿福祉士 保育士 派遣ナース エイド 看護クラーク	21名
	新採用者 オリエンテーション	N95 マスク フィットテスト (フィッティングテスターを 使用)	3月	2022年度新 採用者	27名

【総括】

2021年度に引き続き、2022年度も新型コロナウイルス感染症への対応に追われる日々が続きました。感染対策には最大限努力してきましたが、残念ながらクラスターの発生を認め、一時期入院制限をしなければなりませんでした。しかし、そのような状況でも、小児・周産期・高齢の重症化リスクの高い新型コロナ患者を可能な限り受け入れ、当院の役割は果たしてきたと思います。

この経験を忘れることなく、今後も職員全員でさらなる感染対策に取り組んでいきます。